

2 特に増客効果が大いと考えられる項目

担当局区	No.	事業名	事業概要	今年度の進捗状況等
総合企画局	6	岡崎地域活性化ビジョンの推進	平成22年度に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」では、将来像の1つに「歩いて楽しい祝祭と賑わいの空間」を掲げており、官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、地域を挙げての催しや魅力づくりなど、市バス・地下鉄の利用促進につながる賑わい創出に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・神宮道(冷泉通～二条通間)の歩行者専用化に向けた関連調査と整備計画づくり ・「京都岡崎レッドカーペット」の開催(約64千人) ・「岡崎ときあかり ～あかりとアートのプロムナード」の開催(台風のため未実施) ・「岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり」の開催(3月末予定)
	7	山ノ内浄水場の跡地利用の推進	山ノ内浄水場跡地について、「京都市山ノ内浄水場跡地活用方針」に基づき大学を中核とする施設の立地を誘導し、本市西部地域はもとより、市全体の活性化や地下鉄増客に資する活用を図るための取組を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画制限の見直し(用途地域の変更及び地区計画の策定) ・学校法人京都学園と「一般定期借地権設定契約」を締結 ・学校法人京都学園と「基本協定を変更する協定」を締結
	15	地下鉄北山駅周辺地域の活性化	植物園や府立大学、総合資料館等さまざまな文化施設が集積する北山地域(北山文化環境ゾーン)の整備を行う京都府と協調し、京都コンサートホールや商店街、地元の関係団体等とも連携した地下鉄北山駅周辺地域の活性化に取り組むことで、更なる地下鉄・市バスの増客を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・京都コンサートホール来場者の利便性を向上させるため、京都コンサートホールのプロムナードと入口の間に屋根を設置する。
	16	大学の学びの環境向上に向けた施設整備の支援と誘導	学びと学術研究の環境の充実に向け、大学が行うキャンパスや研究施設等の拡充の支援策として、新たに用地を求める大学に未活用市有地の優先的譲渡を検討し、大学施設の新設を誘導することにより、地下鉄・市バスの増客につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・JR二条駅前五角形用地西側用地の学校法人佛教教育学園への譲渡に向けた取組を推進
	17	東部クリーンセンターの跡地活用の検討	地下鉄駅に近接している東部クリーンセンターの跡地について、市民の皆様からの御意見や地下鉄の増客の視点も踏まえ、京都の活性化のために活用するよう検討を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地の活用方法の検討
産業観光局	15	京の七夕	「願い」をテーマに、旧暦七夕にちなんだ「京の七夕」を京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会等のオール京都体制で実施。京都の新たな夏の風物詩として、京都観光、和装をはじめとする伝統産業の振興を図る。	開催期間:平成25年8月3日～12日(来場者742千人)
	17	東山花灯路	白壁や木々にゆらめく陰影、石畳に映えるほのかな灯り、門前町の店頭に彩りをそえる、はんなりとした灯りなど、東山地域の地理的諸条件を生かし、和を基調とした「灯り」と「花」による演出を基本手法にして、早春の季節感を魅力的に表現し、地元関係団体と一体となり、持続可能な事業としていく。	開催期間:平成26年3月14日～3月23日(来場者見込み:1,200千人)
都市計画局	21	地下鉄集客・交流プロジェクト～山科・感動ツーリズム～	地下鉄東西線の集客増を図るため、地元住民と行政、交通事業者等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起こし、磨き上げ、商品化、プロモーションを一貫して行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・隋心院「こまちぶみ」10月から販売開始 ・隋心院コンサート 10月2回開催 ・毘沙門堂ライトアップ 11月開催
	22	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	本市の都市計画の基本的な方針となる都市計画マスタープランに示されている土地利用の方針に基づき、エコ・コンパクトな都市を実現するために、地下鉄をはじめとする公共交通拠点周辺における都市機能の集積や充実を目的として、「地域地区の見直しに関する方針」を検討したうえで用途地域等の見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回検討委員会の開催(6月) ・第2回検討委員会の開催(9月)

建設局	10	梅小路公園の再整備	「京都水族館」の開業に加え、梅小路公園の更なる魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、鉄道博物館の誘致や市電ひろば(仮称)などの拡張整備を実施する。	○スケジュール 平成25年6月:拡張公園整備着工 平成26年2月:拡張公園全面開園(市電広場, チンチン電車新規運行, カフェ等) 平成28年春頃:鉄道博物館開業予定
伏見区	13	久我・久我の杜・羽東師地域におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域住民の意識と行動に直接働きかけ、過度なクルマ利用を控え、歩くこと、公共交通等を利用することへの転換を促す取組であるコミュニケーション施策(モビリティ・マネジメント)を、久我・久我の杜・羽東師地域において実施する。	・「夏休み市バスで遊びに行こうお出かけプラン」の小学校への配布実施
交通局	26	区役所・支所との連携による地下鉄駅周辺地域へのポスティングの実施	地下鉄駅周辺地域に対し、各区役所・支所等と連携して、地下鉄の便利情報の紹介や地下鉄の利用促進の呼びかけを記載したリーフレットの制作・配布を行い、地下鉄の増客を図る。	・地下鉄駅周辺への利用促進チラシ等の全戸配布を山科・醍醐方面で、区役所等と連携して年度末頃に実施

3 平成25年度下半期から新たにプログラムに加える項目

担当局区	No.	事業名	事業概要
北区	10	柘野学区におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域と地元京都産業大学との連携のもと、北区役所・交通局も協働して、「柘野地域における公共交通利用促進会議」を発足させ、地域の方が主体的に地域の公共交通のあり方を検討し、その利用促進を図る取組を進める。 9月に「柘野地域における公共交通利用促進会議」を発足
右京区	8	公共交通をかしこく活用プロジェクト	地域住民、学識者、交通事業者、右京区役所等が主体となり、自転車問題の解決から公共交通への転換に向けた取組を進める。 11月に「公共交通をかしこく活用プロジェクトチーム」を発足